



## ジブリパーク見学 1, 2, 5年生

常磐小学校創立150周年記念を兼ねて、2月5日(月)は、1, 2, 5年生がジブリパーク見学に行きました。あいにくの雨でどどこ森の見学はできませんでしたが、雨天でも楽しめる愛知県児童総合センターで午前中過ごすこととなりました。



この施設が思った以上に楽しくて、子供たちも大満足でした。低学年は、森やまちをテーマにした大型遊具がある体験ゾーン「こどもの森」や、建物全体が遊具で室内アスレチックがたくさんある「アトリウム」、音楽とダンスをモチーフにしている、子供たちが映像に合わせてジャンプしたり



踊ったりする発見ゾーン「あそびラボ」、漫画家の手塚治虫さんによるロボットの演奏会が楽しめる「ロボットシアター」、リニモの魅力や楽しさなどを感じることのできる「すごいぞ!リニモ」コーナーなど、思う存分活動することができました。さらに5年生は、低学年よりもさらに範囲を広げて、音や光



を五感を使って体験できる発見ゾーン「音・光」、二重らせんのスロープに音や風、光など様々な仕掛けがある「チャレンジタワー」など、班の仲間と一緒に楽しむことができました。



そして午前の最後は、みんなお待ちかねのお弁当タイム。トトロだけでなくまっくろくろすけやカオナシ、紅の豚など、ジブリにちなんだお弁当がいくつかあり、味覚と視覚の両方で楽しませてくれました。前回同様、保護者の方々の熱い思いが伝わってきました。



美味しいお弁当を食べ終わった後は、いよいよ待望のジブリの大倉庫を見学しました。特に低学年は3~6年生の班別行動とは違って、学級ごと見学となりました。これは、低学年用の施設「子どもの街」や「ネコバスルーム」があるからです。「子どもの街」は、スタジオジブリがある東京・小金井市の、ちょっと昔の街並みや乗り物などをモチーフにした子供たちの遊び場になっています。中、高学年とは違った楽しみ方ができたようです。

以上、2日にわたってのジブリパーク見学は、子供たちにとって大変思い出深い行事となり、「楽しかった!」という声をたくさん聞くことができました。保護者や地域の方々の温かなサポートに感謝いたします。愛知県が世界に誇る施設に、機会があればぜひご家族でも行ってみたい下さい。

